

電子書籍版

# 在日朝鮮人団体 事典

## 1895 ~ 1945

在日朝鮮人団体事典日韓共同編纂委員会 編

(韓国・民族問題研究所 企画・制作／日韓共同編纂委員長 樋口雄一・水野直樹・金廣烈)

一八九五年から一九四五年まで、  
日本「内地」で活動した  
五五一の団体を網羅。  
活動内容、主なメンバー等を、  
参考文献とともに詳述。  
日朝間の歴史的関係を照射し、  
東アジア市民社会の将来を  
探るうえで必須の資料。

取扱店

株式会社 紀伊國屋書店 デジタル情報営業部 Kinoden 担当

TEL:03-6910-0518 FAX:03-6420-1359

〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10 ict\_ebook@kinokuniya.co.jp

丸善雄松堂 株式会社 学術ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当

TEL:03-6367-6080 FAX:03-6367-6188 ebook-i@maruzen.co.jp

〒104-0033 東京都中央区新川 1-28-23 東京ダイヤビルディング5号館 10階

EBSCO Information Services Japan 株式会社

TEL:03-4540-7169 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-6-2 高円寺センタービル3階



在日朝鮮人団体事典日韓共同編纂委員会 編

(韓国・民族問題研究所 企画・制作／日韓共同編纂委員長 樋口雄一・水野直樹・金廣烈)

2025 年 2 月刊行予定

【同時 1 アクセス】本体 70,000 円

【同時 3 アクセス】本体 140,000 円

※紀伊國屋書店 (KinoDen)、または丸善雄松堂 (eBook Library) にてご契約の際は、表示価格に、10% のシステム使用料が加算されます。

1895 年から 1945 年まで、日本「内地」で活動した 551 の団体を網羅し、その名称、活動内容、主なメンバー等を参考文献とともに詳述。日韓朝研究者の協力により、2021 年に韓国で刊行された同書を日本語訳し、電子版で配信。日朝間の歴史的関係を照射し、東アジア市民社会の将来を探るうえで必須の資料。

## 本文見本 (部分)

## 東亜通航組合 | 1930. 04～1935

## 大阪在住の済州島出身者が自主的に運営した船舶運航協同組合

済州島民の日本への渡航は1910年代後半に本格化し、済州・大阪間に定期航路が開設された1923年の時点で在日済州島出身者はすでに1万人を超え、ピーク時の1934年には5万人を超えたと推定されている。済州島出身者が最も集中していたのが、当時日本最大の工業地帯であった大阪とその周辺地域であり、男性はゴム、ガラス、メッキなどの化学工業や金属・機械工業などの零細工場の労働者、あるいは土木労働者として働き、また女性は主として紡績業をはじめとする繊維工業に従事した。そしてその中には過酷な労働環境や民族差別に対する問題意識から、労働運動などに身を投じる者も多かった。

済州・大阪間の定期航路は、当初、日本の海運業者である尼崎（あまさき）汽船部（1923

## 本書の特色

- 韓国の民族問題研究所は、戦前の日朝間で活動した人物・団体についての調査・研究を行っている。日本「内地」における朝鮮人団体に関する資料が不足していたことから、同研究所は 2007 年より、日韓朝研究者 38 名の協力を得てこれに関する事典編纂の事業を開始し、2021 年にその成果を韓国で発表した。本電子版はその日本語訳である。
- 本事典では 1895 年から 1945 年まで、存在が確認された在日朝鮮人の 551 の団体について、その名称、所在地、主なメンバー、活動の目的と沿革、解散等について詳述する。また、電子版としたことにより、全テキストの検索を可能とした。
- 典拠として、戦前の日本政府の資料、日本・朝鮮の新聞・雑誌、戦後日本・韓国で発表された研究論文等を可能な限り利用しており、各団体の項目の末尾にこれを示す。
- 団体には、その活動目的から見て政治・経済・思想・教育・

親睦・相互団体等がある。また、構成員の主体から見て、青年・学生・労働者・失業者・女性・借家人等があり、さらに日本の官製団体があった。本事典ではこうした団体の独立闘争・民族運動、生活文化の擁護・向上、日本政府への協力、徴用に対する抵抗などの歴史を容易に把握することができる。

## ●収録団体の例

関西朝鮮人連盟／阪神消費組合／内鮮共栄会／大同会／東京朝鮮基督教青年会／明進会／白頭体育会／三一青年会／鮮友親睦会／新興科学研究会／日本同和会／朝鮮労働相互社／朝鮮女子留学生親睦会／中央協和会／他、全 551 団体

## ●目次

日本語版に寄せて／発刊の辞（韓国語版）／凡例（日本語版）／解説／団体目次／本文／付録：地域別在日朝鮮人団体目録（収録・未収録）／参考文献

\* 表写真：1922 年に就航した関釜連絡船の景福丸。